闘って「雇用」守った！

徳山生コン労組　会社の一方的清算・解雇許さず

「職場がバラバラ」「首切りにも赤旗一本立たない」といわれる中、労働者の心意気と団結を示す出来事が港区でありました。徳山生コンクリート㈱（港区などに工場）が昨年夏、一方的に清算・解雇を通告したことに対して労働者が撤回闘争を続け、このほど「新会社設立」という形で「雇用」を守るに至ったのです。五カ月の闘争を戦い抜いた大阪工場（海岸通）の労働者を訪ねました。

泊り込み5ヵ月、家族も一体で

職場労組の一つ、建交労（全日本建設交運一般労働組合）徳山生コン大阪分会によると、闘争は次のような経過を辿りました。

◆突然の清算解雇通告

「会社を解散した。一カ月後に解雇する」との通告が全従業員五十一人（うち大阪工場十八人、うち組合員十三人）に突き付けられたのは昨年七月三十日でした。職場の二労組（建交労とUIゼンセン同盟）は直ちに協力して抗議し、団体交渉を求めましたが会社側は拒否。労組側は「これは計画的な解散だ」として、①親会社（㈱トクヤマ＝東証一部上場）へ交渉申し入れや抗議宣伝②会社の資産を持ち出させないよう二十四時間の職場占有（泊り込み）③大阪府労働委員会への不当労働行為救済申立―などの闘争を、全国の支援も得ながら開始しました。

◆組合管理の新会社へ

当初、会社側はロックアウトなどで交渉拒否の態度をとっていましたが、八月十日以降は窓口を開き、同二十六日には、①和解協議が整うまで「特別清算」申し立てを延ばし、組合員との雇用契約も続ける②組合債権で新会社（輸送会社）を設立し、雇用確保を図ることを基本に和解協議を進める―との内容を確認。十一月二十九日の最終和解協議では、その内容で基本合意が交わされ、実質的な解決に至りました。

現在、組合員は新会社発足に向け事業免許取得などの準備を進めています。

◆家族の不安辛かった

組合員の一人で妻と一児を抱える脇坂幸伸さん(三九)は闘争を振り返って「突然の解雇通告を受けた時は家族にどう話そうかと悩みました。子供は事情をよく理解できず、『何で毎晩泊りに行くの？』と戸惑った表情を見せられるのも辛かったです。いつ解決するか予想がつかない中、全国からの支援が温かく、早期に解決できたことが何より嬉しい。不況下で倒産・解雇はどこにも起こりうる問題。そんな時、力になるのが組合だということを改めて確信しました」。

結束した闘争で「雇用確保」を勝ち取った徳山生コンの労働者（一部）＝12月24日、海岸通の大阪工場で

◆貫いた組合民主主義

同分会書記長の藤原督幸さん(四二)、闘争本部事務局の法月健二さん(四一)は、①会社はこれまでの信頼関係を無視し、利益のため労働者を犠牲にしようとしたが、家族も一体の運動で跳ね返し、親会社の責任で雇用確保の土台を作らせることができた②一人も欠けず闘い抜けたのは「皆で話し合い、皆で決め、皆で行動する」という組合民主主義を貫いたから③全国からの支援は苦しい中で我々を励ますと共に、親会社を社会的に追い込む役割を果たした④この闘争で培った団結と組合民主主義を今後も生かし、新会社を具体化していきたい⑤労働組合は学び合い、励まし合い、力を合わせて生活を変えていける場であることを知ってほしい―と強調していました。

組合員の平均年齢は四十二歳。家族を含む二百人以上の生活をかけた闘いは、新たな局面へとさしかかっています。

「大不況の中でも、餅のように粘り強く闘おう」と開かれた伝統の「団結もちつき大会」＝12月18日、南市岡の田中機械構内で

労働運動粘り強く

南市岡で　伝統のもちつき大会

「労働者と地域住民の交流を」と毎年末に行なわれる伝統行事「団結もちつき大会」が十二月十八日、南市岡の田中機械構内で行なわれました。地域合同労組「港合同」と同もちつき実行委が主催、「平和と福祉」を目的に活動する「NPOみなと」が共催。四十回目。

◆地域と労働者一体に

予約していた人たちが午前十一時頃から次々と餅米を持ち寄り、労働組合が無料で蒸し、つき、丸めて渡しました。威勢の良い掛け声と共に杵を振り上げる青・壮年、手早く切り、丸め、大根おろしや黄粉をまぶしたり、雑煮にしたりして参加者にふるまう女性たち、「（昔の）賃づきを思い出すなぁ」と懐かしそうに語り合う高齢者―。冬晴れの冷たい空気の中、地域と労働者一体の和やかな雰囲気が印象的でした。

◆若い力が頼もしい

NPOみなとの高橋副代表理事と知り合い、前回から参加しているという平井新三さん(七〇)（市岡一丁目北ブロック子ども会代表）は「子ども会でも餅つきをやりますが、この催しはとにかく活気があり、特に若い力が目立つのが頼もしいですね」。

賑やかに喋りながら餅を丸めていた昌一金属の女性労働者四人は「お餅を均等に切るのは難しいけれど、丸めるのはそうでもなく楽しい作業。この催しは活気があり、地域の方や会社OBと出会えるのも楽しみです」と話していました。

午後には労働者集会が開かれ、労組、民主団体などが次々と挨拶。この中で港合同の大和田幸治事務局長は「労働運動の長期後退の中、個々の闘争を団結権確保の闘いへと発展させていくことが重要」と強調しました。

【1面のつづき】

コミュニケーションの場でもある銭湯。近隣の馴染み客との話に花が咲く

銭湯業者ならではの喜びは他にもあります。湯上り客がのんびり脱衣場で話に花を咲かせている時、また「これ、あの人に渡しといて」などと番台に物を託される時、銭湯がコミュニケーションの場や交流の懸け橋になっていることが実感され、「銭湯を続けてきてほんまによかった」と思えるそうです。

◆父の後を継いで

扇温泉のルーツは昭和二十九年、今の磯路にあった「市岡温泉」の親方の世話で外喜さんの父親が港警察署前に「高尾温泉」を開業したこと。父は外喜さんが小学一年の時、現在地を買い、「扇湯」を開きました。外喜さんは高卒時から罐焚きなどを手伝っていましたが、平成二年には実質的に後を継ぎ、同十五年に父が他界したことで、名義上でも二代目となりました。

◆後継問題も厳しく

現在、扇温泉には主湯に浅風呂、超音波風呂、寝風呂、水風呂、スチームサウナなどの設備があり、午後三時から十二時まで営業。定休日は水曜です。

開店と共に近隣客が次々と訪れ、賑わう脱衣場。「近くの銭湯が廃業した分、まだたくさんの方に来てもらっていますが、見通しが厳しいことに変わりはありません」と外喜さん。一人息子は会社員だそうですが、「今の経営状況で継いでくれとは言えませんわ(笑)」。

交替で番台に座る夫妻。長時間重労働の疲れから居眠りすることもあるという

◆同業者と助け合って

港区にはかつて三十を超えた銭湯が、今では十三。そのうち燃料に専ら薪を使っているのは扇温泉だけです。が、他の店も、①重油だけ②廃油だけ③廃材で火入れしてあとは重油―などそれぞれの焚き方があり、それぞれに苦労や努力があるといいます。入浴者が年々減り続け、行政からの援助も乏しいという共通の厳しさの中、「他の店と助け合いながら、先代が点した銭湯の灯を消さずに頑張っていきたい。地域に必要とされ、体が続く限り」―二人の声に力がこもります。

◆週に一度は銭湯へ！

①大きな湯舟に浸かると出るα波は心身の健康に最高の薬②水や火力をみんなで使うのは最高の省エネ③裸のコミュニケーションは日本ならではの文化―とは多くの学者が指摘する銭湯のメリット。「家風呂のある方も、できれば週に一度は銭湯へ来て下さいね」―最後に加奈里さんがにっこりと呼びかけました。

大好評受付中！
出前さんぱつ
月曜日に区内のご自宅や施設まで出張
カット2,000円+出張費1,000円（施設など2人以上なら無料）
ご来店料金は2,500円より
磯路2-1-21 りそな銀行前　床屋カンパニー　☎6577-5225

働く仲間の相談所
倒産、解雇、賃金不払い、条件切下げなど何でも　無料
困ってませんか？
港合同（南市岡3-6-26）☎6583-4858

住宅ローン金利を引き下げるには?!
一昨年12月施行の「金融円滑化法」で住宅ローン金利引き下げの取り組みが各地で行われていますが、実際に取り組んでいる方はごく僅か。そこで都市銀行の現職行員を招き、引き下げ交渉のポイントなどを話して頂きます。奮ってご参加下さい！
★2月13日㈰ 13:30～15:30　参加無料
★港近隣センター（八幡屋1-4-20 ☎6571-3056）
税金・融資・国保・労働保険等のご相談もどうぞ
港民主商工会
港区夕凪2-10-16　☎6572-7867

募集　訪問ヘルパー
〈常勤看護師も同時募集〉
「ヘルパー養成講座」受講のための
奨学生募集！
★しめ切り1/19㈬ ★講座スタート2月
健診　日曜も平日も　要予約
乳癌・子宮癌・人間ドック・特定健診
〈1/23㈰、2/27㈰ 8～12時受付〉
★いずれも詳しくはお電話下さい★
港医療生活協同組合
磯路3-3-4 ☎6571-0606 担当:姉川

住まいの防犯レベル高めよう
①ワンドア・ツーロックは常識
②ピッキングに強いカギに交換
③窓にも補助錠の取り付けを
PHS・携帯OK 0120-70-5569
(アーイアート)港カギ防犯センター
安心・安全をご提供します
港区港晴1-4-8（港晴小学校並び）
☆大阪府錠前技術者防犯協力会会員
☆港防犯協会会員　☆防犯設備士第00-6738号